事務事業評価シート　（評価対象年度：平成 30 年度）

1.基本的事項 【PLAN】

①事務事業名	せんなん男女平等参画ルーム事業	②事業番号	1512
③事業類型	3. 政策推進事業	④開始年度	平成 15 年度
⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし		
⑥根拠法令等	○法令 ○条例 ○規則 要綱 計画等 その他	法令等の名称	男女平等参画推進条例 他
⑦実施手法	○直営 全部委託 一部委託 補助・負担 その他		
⑧関連予算科目コード	款 2 項 1 目 12	細目	13
⑨担当部名	総合政策部	⑩担当課名	人権推進課
会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握 【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 登録グループ	① 団体数	団体
② 市民	② 人口	人

(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
男女平等参画ルーム「ステップ」(男女平等参画推進のための拠点施設)を通して、男女平等参画社会形成を促進する。 ①登録グループのネットワーク会議を開催することで、各グループ相互の連携、交流、情報交換活動等を行う。 ②平日9:00～17:30まで開所している。 ③参考図書を蔵書し、随時貸出しを行う。	① ネットワーク会議開催数	回
	② ルーム開所日数	日
	③ 蔵書数	冊

(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
男女平等参画の啓発や、男女平等参画に係る情報を提供し、市民及び市民グループを育成・支援する。	① 利用者数	人
	計算式	
	② 図書利用者数	人
	計算式	
	③	
	計算式	

(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け		
男女平等参画ルーム「ステップ」(男女平等参画推進のための拠点施設)を通して、市民及び市民グループの男女平等参画社会づくりの意識向上、政治・経済・社会・家庭などのあらゆる分野で、自分で意思決定し、行動できるような社会の形成に寄与する。	政策(章)	1	すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	2	男女がともに個人として尊重され、自由な活動ができるまちをめざします
	施策中	2	仕事と生活のバランスづくり
	施策小	2	家庭と地域における男女平等参画の促進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	団体数	団体	10	10	9	11	11	
対象指標②	人口	人	63,125	62,549	61,984	—	—	
活動指標①	ネットワーク会議開催数	回	2	3	3	3	3	—
活動指標②	ルーム開所日数	日	240	244	244	244	—	
活動指標③	蔵書数	冊	728	740	751	758	765	
成果指標①	利用者数	人	1,576	1,573	1,853	1,800	1,800	
成果指標②	図書利用者数	人	19	12	24	20	20	
成果指標③								
事業費 投入人員	正職員	人	0.07	0.07	0.06	0.06		事業費などの推移における特殊要因などの説明
事業費 投入人員	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費 投入人員	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費 事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	562	562	486	486		—
事業費 事業費	直接事業費	千円	14	13	6	6		
事業費 事業費	総事業費	千円	576	575	492	492		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
財源内訳	一般財源	千円	576	575	492	492		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	男女平等参画プランに基づき、拠点施設の整備を行った。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	ルームを利用する市民及び市民団体がエンパワメントを高め、活動しやすい環境が提供できつつある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価 【CHECK】

〔1〕目的妥当性（必要性）　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔1〕の評価 A

評価項目			評価及び理由・説明等
①事務事業の意図すること（目的）は、上位施策（施策小）の達成に貢献しますか。	ア	ア．する イ．ある程度 ウ．しない	男女平等参画社会を形成するためには、市民グループの支援は欠かせず、それぞれの活動の中からエンパワメントを高め、家庭や地域における男女平等参画の促進につなげていく。
②税金を使って達成する目的ですか。 （市が関与する必要がありますか、市民（特に納税者）の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。）	ア	ア．はい イ．ある程度 ウ．いいえ	男女平等参画推進条例により、市民等による男女平等参画の取組を支援するため、総合的な拠点施設の整備及び充実に努めると定めている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 （他団体と比較してどうですか。）	ア	ア．合っている イ．ある程度 ウ．いない	今後、引き続き新規グループ登録の広報を行うなど、ルームの周知が必要である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活（あるいは上位施策）への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア	ア．影響がある イ．ある程度 ウ．ない	拠点が失われてしまうことにより、男女平等参画意識が低下する。

〔2〕有効性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔2〕の評価 B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	イ	ア．得られている イ．ある程度 ウ．いない	ルームの活用方法、登録グループの連携を充実させることが必要である。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 （事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	ルームがより有意義なものとなるよう検討に努め、登録の方法等を広く周知する。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア	ア．類似なし イ．できる ウ．できない	男女平等参画推進条例に基づく事業であり、類似事業はない。

〔3〕効率性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔3〕の評価 A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト（直接事業費＋人件費）を削減する手法はありませんか。 （業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。）	イ	ア．ある イ．ない	現行の取組を継続していくことが重要である為、今以上のコスト削減は難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 （歳入確保はできませんか。）	イ	ア．ある イ．ない	受益者負担にはなじまない。

4. 総合評価

	評価（A～D）	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
総合評価	B	登録グループ間の連携や登録グループの増加、ネットワークの拡大が必要。	A：現状のまま事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案 【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ　ア．現状のまま継続　イ．見直しのうえで継続　ウ．終了（＿＿年まで）　エ．休止（＿＿年から）　オ．廃止（＿＿年から）

b

＜今後の展開方針＞

a. 重点化する（集中的なコスト投入）
b. 手段を改善する（実施主体や実施手段を変える）
c. 効率化する（コストを下げる）
d. 簡素化する（規模を縮小する）
e. 統合する（他の事務事業と統合する）

①改革、改善の具体案、実施年度など	登録グループに可能な範囲で男女平等参画社会づくり等の講座に参加してもらい、情報交換を行う等し、今まで以上に連携の深化を図りたい。また、登録グループを増やしネットワークの拡大を図るため、ルーム「ステップ」の周知に工夫が必要である。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	講座や講演会等を通じ、市民一人ひとりへの男女平等参画意識の醸成が必要。